

平成30年11月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の平成30年11月の有効求人倍率(季節調整値)は1.78倍となり、前月より0.04ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.83倍となり、前月より0.08ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 11月の新規求人数(季節調整値)は前月比3.4%減となり、有効求人数(同)は前月比0.3%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比0.6%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.5%増となった。
- 11月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると6.1%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比25.8%増)、製造業(同1.1%増)、情報通信業(同3.8%減)、運輸業、郵便業(同12.7%増)、卸売業、小売業(同4.3%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同6.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同3.8%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同6.1%増)、教育、学習支援業(同12.6%増)、医療、福祉(同3.9%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同4.3%増)となった。

